

私のルーツ

鳥山 昌則 氏

- ・実家は勝山市猪野。今から 42 年前に勝山高校を卒業し、現在 60 歳。今は東京都池袋に住んでいる。
- ・本日は山手線の遅延で、新幹線に乗り遅れてしまって予定より到着が 1 時間遅れた。けれども授業には間に合うことが出来た。私の人生は今まで大変なことがたくさんあったけど、なんとかこなってきた。何とも運がよく、私は財布を 10 回落としてもお金も全部入って戻ってきている。これからどうなるかは分からないが…
- ・「覚悟の瞬間（とき）」というホームページがある。安倍総理や間寛平さんといった色々な著名人が動画で自分の「覚悟の瞬間」を語っている。私のお客様に対する「覚悟の瞬間」を取り上げた動画もあるので、ぜひ見てほしい。
- ・勝山高校には昔、商業科があり、自分は商業科を卒業している。商業科はなくなってしまったが、勝山高校は自分のルーツである。
- ・本日、冊子〈あなたの人生の応援誌〉をお配りした。皆様のような若い方にぜひ読んでほしい。

- ・本日は東京から 6 名で来た。職業が異なるので、テーマも分かれている。私は税理士と不動産賃貸、2 つの面から東京での活動をお伝えしたい。
- ・東京勝山会（東京に出てきた勝山人）、勝高会（勝山高校出身で東京進出した人）、東京奥越経済同友会というものがあり、これらを包括するように、東京福井県人会がある。我々 6 名は全部に所属している。
- ・私が勝山高校に在籍していたころは 8 クラスあって、生徒数は今の 3 倍ぐらいいた。少子高齢化といえども、他に比べて勝高は生徒数が落ちてると聞く。
- ・皆様は、これから勉強して就職していくことになるが、その際に、私の活動を参考にしてもらいたい。
- ・私は高校時代、弓道部に所属していた。当てようと一生懸命になって、「早気（はやけ）」になってしまい、矢が的に全然当たらなくなってしまった時があった。今でも夢に出てくることもある。しかし弓道部での経験は仕事の集中力につながっている。
- ・私は税理士で簿記は得意。しかし学生時代、算数・数学の成績は 2 だった。そんな私がなぜ税理士の道に進んだかという、きっかけは推薦で進学した福井県立短大経営学科の先生。その先生が「税理士は 1 時間で相談料として 1 万円稼げる」と教えてくれて、私はその「1 万円」という響きにつられて税理士になろうと思った。
- ・税理士になろうと思った理由はもう 1 つある。それは「一番儲かる商売は何か」を見つけたかったこと。税理士は、中小企業の社長や稼いでいる個人事業主と会えるので、

その答えが見つかると思った。

- ・福井の2月は雪が降ってどんよりして暗い。しかし、2月に親戚がいる東京に行った際、真っ青な空が広がっていた。私はその青空が気に入り、東京で税理士の資格を取るためにそば屋に住み込みのバイトをし、調理師免許も取得した。2年後の22歳の時に資格を取り、27歳で税理士登録、30歳で宅地建物取引業登録。
- ・現在は、平成元年生まれの息子も税理士、公認会計士になって一緒に仕事をしている。

- ・「税理士」とは、「命の次に大切なお金のドクター」と私は考える。
- ・私は株も投資信託、FX、さまざまなことをやってきた。ネイルサロンも銀座でやった。そのことで2億円ぐらい損してる。しかし、なんとかなっている。それは本業である税理士の仕事を一生懸命やってきたから。税理士は天職だと思っている。そのような中で、「一番儲かる商売は何か」というのを見つけた。それは「不動産賃貸業」である。不動産（アパート）を建てる、または中古のものを買って、貸す。不動産を得るために生じた借金は家賃収入で賄い、残ったお金で生活する。
- ・私は160億円のビルやアパートを所有管理し、借金は130億円ある。家賃収入は1年で11億円。家賃収入の11億円はもちろん税金がかかるため、その税金を税理士としていくら節税できるか。私は税金対策として40余の会社を持ったり、税務署とたたかったりしている。
- ・つまり、私自身が一番儲かる商売である不動産賃貸業を実施し、加えて節税を実践することで、その方法をお客さんに勧めている。

- ・私の両親は、借金を早く返せと言った。確かに100万円の借金というだけでもびっくりするのに、億単位の借金ともなれば、そのように言うのも無理はない。
- ・しかし借金には「いい借金」と「悪い借金」がある。自分が持っているのは「いい借金」。家賃が入って、借金を返せるし、財産も残る。しかし家賃が確実に入ってこない「いい借金」とは言えない。家賃がちゃんと入るところは東京近郊。東京近郊は人口がまだ増えている。「人口減っているのではないか」と思うかもしれないが、それは日本人の人口。外国人は増えている。新宿や池袋では外国人が10%超えている。
- ・地方は魅力がないと外国人が入ってこない。北海道のニセコ町は外国人が増えている。どうしてかという観光産業があるから。勝山市もスキージャム勝山や恐竜博物館がある。こういったものを活用し、観光産業で外国人を増やしていくことが必要だと思う。

- ・一番儲かる商売を探す中で、儲かる社長の性格というのも見つけた。まずは「せっかち」であること。決断が早く、そして的確である。そして「シビア」である。つまり

覚悟が強く、甘くない。決して妥協しない。また、「質素儉約」が大事。見栄っ張りの社長の会社はなくなっていった。

- ・「同じカゴに卵をすべて入れるな」という格言がある。同じカゴに全部の卵が入っていたら、転んでしまったとき、すべて割れてしまうから、複数のカゴに分けるべきだという意味である。つまり分散投資の考え。

しかし、私はそのようにしていたら儲からないと思っている。分散しても儲けと損失が相殺されてしまうからだ。私は先程述べたように、株や投資信託など色んなことを行ってきたが、現在は不動産賃貸業1本。不動産賃貸業は確実に儲かると確信し、どんどんそこにお金をかけている。

- ・不動産を持つことは相続税対策にもなる。例えば30億円の現金を持っていると、相続税は約10億円かかる。20億円あるからいいという方もいるかもしれないが、私はそう考えない。賃貸不動産を持つことで収入を得ながら相続税を0にする、これが私の税理士としての生きざまである。
- ・不動産賃貸業は都心だからこそ儲かるので、東京に出たから出来たこととも言える。皆さんには高校でしっかり勉強し、体を鍛えながら自分には何が向いているのか模索しながら、高校2年生である程度自分の進むべき方向性を固めてほしい。私も高校の時点で税理士もいいと漠然と考えており、短大へ行ったことで確証に変わった。とりやま財産経営はアパートも持っているので東京に出てくるのであれば、ぜひ足掛かりにしてほしい。東京で修業して、福井に支店を作ってUターンするのもいいのではないか。
- ・懐かしの名曲「神田川」を演奏したいと思う。高校2年生の時、級友からモーリスのアコースティックギターを4,000円で買って、3万円かけて直して今でも使っている。
～演奏～

【追伸】

47都道府県中人口比率で経営者をおそらく半世紀で一番多く輩出している県がある。それは雪が降り積もりねばり強く工夫をする我が福井県なのです。そのDNAを皆さんは持っているのです。

必ずやそのうち血が騒ぎ出します。自分を信じてその道をしっかりと歩んで下さい。